

令和元年度



幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価について

幼保連携型認定こども園における教育及び保育は、乳幼児期全体を通して、その特性及び保護者や地域の実態を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とし、家庭や地域での生活を含めた園児の生活全体が豊かなものとなるように努めなければなりません。

四季の森こども園では、保育教育理念として『笑顔でやさしく しっかり抱いて ゆっくりおろして 歩かせよ』(愛情をいっぱいそそぎ、個々をしっかり見つめ、触れ合い自立へと心豊かに生きる力を育む)を目指して様々な活動に取り組んでいます。

その活動の質を高め、充実させていくために、上記のことを踏まえ、令和元年度自己評価として幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価を行いました。

評価の目的として

- (1) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領を理解し、子どもの最善の利益を実現するために行う。
- (2) 現在行っている教育・保育を様々な観点から見直す手段とする。
- (3) 現状を把握し、次の手立てを考え、実行につなげる。
- (4) 一つ一つの項目の意味を自園の立場から理解し、問い直し、さらなる教育・保育・子育て支援等の質の向上につなげる。

評価の方法として

- (1) 子どもを評価するのではなく、保育者自信の保育または園の状況进行评估する。
- (2) 「評価項目」で描かれた姿や子どもが育つよう、実際の保育や環境や体制がどのようにデザインされて実施されているかを評価する。
- (3) 5段階評価をし、データグラフでまとめる。
- (4) 以下の7つの項目にわけてまとめる。
 - ① 乳幼児期の園児の保育
 - ② 満1歳以上満3歳未満の園児の保育
 - ③ 満3歳以上の園児の教育及び保育
 - ④ 教育保育の実践に関わる配慮事項
 - ⑤ 健康及び安全
 - ⑥ 子育ての支援
 - ⑦ 職員の資質向上

別紙に、自己評価の報告をさせていただきます。職員ミーティングを重ね、子どもたちの未来のために私たちが取り組んでいくことを今後さらに話し合い、考えていこうと思います。「自己評価」の結果を基に、園児の理解を深め、四季の森こども園の職員の質、子どもたちへの保育、教育の質を更に高めていきたいと思っています。

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

作成日 令和2年3月23日

法人名	園名
社会福祉法人 森と風の郷	四季の森こども園

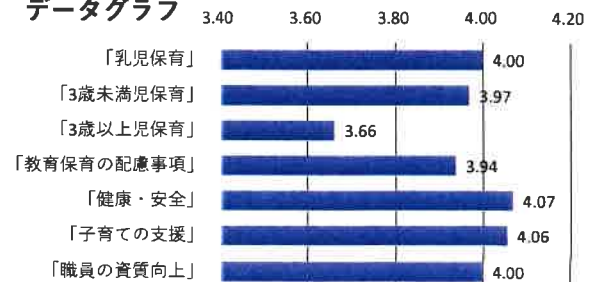
全体平均 3.90

第2章第2節 乳児期の園児の保育	生理的・心理的欲求を満たし、一人ひとりの生活リズムを大切に過ごすことができるように心がけている。食事・睡眠・排泄・遊びといった毎日の生活の中で、心地よさを感じられるようにする。1対1で対応する時は、特に目を見て優しく語りかけることに留意し、応答的な触れ合いや言葉がけを心がけた。表情の変化や体調の変化に十分気を付け、安心感と信頼感を築けるようにしている。
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	保育環境で最も大切なのは「人的環境」と考える。子どもの尊厳を大切にできる専門職としての意識を持ち、子どもの感情表現を受けとめることを大切にしている。個別計画を作成し一人ひとりの園児の成長発達を把握するようにする。生活に必要な基本的な習慣については、園児が自分でしようとする気持ちを尊重するようにする。子どもの行動をよく見て、目に見えない心の育ちも大事にし共感してくるようにしている。
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」で子どもの育ちの方向性を意識しながら園児の成長に注目できるようにする。子どもたちが自由に発言し決定していく場としてサークルタイムの充実を図った。人間関係の葛藤に悩むなど心の成長も著しい時期なので、集団生活の展開にも留意する。各領域の内容を総合的に展開し、保育を振り返りながら子どもたちの探究心や興味を広げ、深い学びへとつなげていきたい。
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	乳児期の園児の健康や安全を図るため、職員間や学校医との連携に努めた。また、栄養士の専門性を生かし対応できるようにした。新年度など担任が替わる時は、園児が不安にならないよう、職員間で情報を共有し保護者に安心してもらえるよう心がけた。「こうあるべき」といった固定的なイメージに捉われないよう、園児の性差や個人差を踏まえて環境を整えるよう十分に配慮していききたい。
第3章 健康及び安全	災害への備えとして保護者や消防署員との避難訓練を実施した。また定期的な警察署員の見守り活動と連絡体制を図っている。防災用品や防災食の備蓄も進めた。健康便りを作成したり、感染症発生時は掲示板で早急にお知らせをすることで感染拡大防止に努めた。新型コロナウイルス感染症対策では、定期的な検温、消毒等健康観察や予防を行った。食への関心を高めるため菜園作りをこれから更に充実させたい。
第4章 子育ての支援	普段から保護者と子どもの育ちを共に喜び、会話を重ねながら信頼関係を構築することが大切であると考え。地域の子育て支援に関しては、一時預かりを行ったり、子育て支援広場の開催や支援センターの開放等を実施した。配慮を要する児童については、専門機関と連携し専門的な意見を参考にしながら指導に努めている。今後は定期的に、個別面談で気軽に相談できるような環境作りや働きかけを行いたい。
第5章 職員の資質向上	職員の専門性を高めるために県内外の視察や外部研修に参加した。また、園の理念、職務規律、専門研修等を重ね共通理解を図っている。それにより保育内容の見直しや役割分担の改善につなげることができた。保育の質の向上を図っていくためには、日常的に職員同士が主体的に学び合う姿勢や環境が重要なため、職場内での研修の充実にも更に努めていきたい。また、他園との学び合いも深めていきたい。
総合	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を踏まえ、園の理念に沿った保育実践に取り組んできた。その子の特性をよく見極め、褒めて伸ばしていけるよう「一人ひとりを抱き上げる保育」ができたように思う。「学びの芽」を摘むことのないように、子どもの興味、関心に合った環境を整え、また遊びの連続性が保障され展開できるように努力している。自らが試行錯誤しながら主体的に遊べる環境の工夫を考えていきたい。自己評価でポイントが低かった項目は改善し、評価の高かった項目は更に質を高められるよう園全体のさらなる保育・教育の充実を図っていききたい。

データ表

内容	項目数	平均
「乳児保育」	10	4.00
「3歳未満児保育」	32	3.97
「3歳以上児保育」	53	3.66
「教育保育の配慮事項」	16	3.94
「健康・安全」	29	4.07
「子育ての支援」	18	4.06
「職員の資質向上」	7	4.00
計	165	3.90

データグラフ





森からのおたより

令和2年3月16日（月）四季の森こども園 No.85

保護者評価の結果について



心地よく吹く春の風、淡いピンクの花々、膨らみ始めた芽、新たな喜びの季節を迎えました。柔らかな春の風を体いっぱいを感じながら育ちゆく子どもたちの瞳は本当に純粋に輝いています。子どもたちの未来にたくさんの幸福が訪れますようにと願う気持ちになります。

四季の森こども園では、保育教育理念として『笑顔でやさしく しっかり抱いて ゆっくりおろして 歩かせよ』（愛情をいっぱいそそぎ、個々をしっかり見つめ、触れ合い自立へと心豊かに生きる力を育む）を目指して様々な活動に取り組んでいます。その活動の質を更に高め、充実させていくために、保護者の皆様に評価をお願いしました。お忙しい中に大変申し訳ありませんでしたが、多数の皆様に回答いただき感謝しております。ありがとうございました。

その結果を、3・4・5歳児と0・1・2歳児に分けて各々で報告させていただきます。職員ミーティングを重ね、保護者の皆様のご意見を真摯に受けとめ、子どもたちの未来のために私たちが取り組んでいくことを今後さらに話し合い、考えていこうと思います。「保護者評価」の結果を基に、四季の森こども園の職員の質、子どもたちへの保育、教育の質を更に高めていきたいと思っています。

今年度の評価としましては、園に対しての各評価項目で「そう思う(A)」と「どちらかと言えばそう思う(B)」を合わせますとほとんどの項目で90%台でした。保護者の皆様に支えられていることを実感しながら、今後の励みにしていきたいと思っています。しかしながら「どちらかと言えば」がついている評価が含まれており「そうは思わない」と感じられる方もいらっしゃるわけですので、結果を謙虚に受けとめ「そう思う」が増えていくように職員一同で取り組んでいきたいと思っています。

また記述でのご意見もありました。「日常生活の基本的動作をしっかり身につけさせてほしい」「行事をもう少し減らしてほしい」「座ってお話を聞ける環境作りをしてほしい」等のご意見を頂きました。また「子どもたちの様子をしっかりと見守ってほしい」等いろいろなご意見も頂きました。また「子どもたちの事を考え、たくさん行事の準備等を有り難く思います」という励みになるお言葉も頂きました。

これらの意見を真摯に受け止め、改善できることは既に始めておりますが、今後検討を重ねながら更に改善・向上に努めていきたいと思っています。まだまだ至らない点も多々あるかとは思いますが、『子どもたちの最善の利益のために』という気持ちで園とご家庭とで連携し合い保育・教育の質の向上を目指していきたいと思っています。また、ご不明の点やご意見等ございましたら、いつでもお気軽にお話しください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。お忙しい中での評価アンケートのご協力ありがとうございました。*別紙にアンケートの集計を載せております。

【認定こども園四季の森こども園 0～2歳児 保護者評価回答用紙】

※評価の欄 A：そう思う B：どちらかといえばそう思う C：どちらかといえば思わない D：そう思わない

評価項目	評価内容 (右の欄の当てはまるA～Dに○をお願いします)	※評価			
		A	B	C	D
保育方針・目標	保護者に保育方針や目標を分かりやすく伝えている。	68%	28%	4%	0%
	保育士が連携協力して保育に取り組んでいる。	70%	26%	4%	0%
活動内容	家庭的な温かい雰囲気での保育に努めている。	75%	18%	7%	0%
	子ども一人一人の個性(良さや可能性)を大切にしている。	64%	36%	0%	0%
	子どもが自ら考えて遊びに取り組みようとする気持ちを育てている。	83%	17%	0%	0%
	外遊びやリズム遊び等で楽しく体力をつける工夫をしている。	71%	29%	0%	0%
	あなたの子どもは、園での生活を楽んでいるようである。	82%	18%	0%	0%
心の育ち	子どもが礼儀正しくなるように育てようとしている。	60%	33%	7%	0%
	子どもが生き物や植物を大切にしようとする心を育てようとしている	78%	18%	4%	0%
	友達と仲良くする気持ちを育てようとしている。	78%	22%	0%	0%
	してはいけないことなど、ルールを覚える態度を育てようとしている	74%	22%	4%	0%
支援内容方法	笑顔で、子どもの目線にたって話しかけている。	75%	25%	0%	0%
	子どもに温かい言葉遣いや優しい態度で接している。	76%	20%	4%	0%
	ほめながら、子どもの意欲や自信につながるように育てている。	75%	25%	0%	0%
安全・環境整備	遊具・施設等の安全や事故防止に努めている。	71%	21%	7%	0%
	子どもが室内で安心して生活できるように、清潔にしている。	72%	21%	7%	0%
	地震・火災・不審者等危機管理に関する対策を行っている。	93%	7%	0%	0%
	子どもにとって楽しんで遊べる環境をつくっている。	86%	14%	0%	0%
	保護者にとって親しみやすい環境をつくっている。	72%	21%	7%	0%
食事	子どもが楽しく食事をする環境づくりに努めている。	82%	18%	0%	0%
	子どもの成長やアレルギー等健康状態に応じた食事を考えている。	89%	11%	0%	0%
	あなたの子どもは、ランチの時間を楽しみにしている。	82%	18%	0%	0%
職員の服務	職務にふさわしい身なり、節度のある行動・態度がとれている。	78%	18%	4%	0%
情報管理・発信	手帳や便りでは保護者の立場を考えて適切な内容を伝えている。	86%	14%	0%	0%
	文書や会話を通して、子どもや園の情報を発信している。	82%	18%	0%	0%
	プライバシーを侵害する情報を発信していない。	90%	7%	0%	3%
	子どもや園に関する守らなければならない事項を漏らしていない。	89%	11%	0%	0%
家庭・地域	保護者の意見や相談を聞きやすい体制を取っている。	71%	25%	4%	0%
一時預かり保育	一時預かり保育を受け入れやすい体制を取っている。	67%	33%	0%	0%
子育て支援	就園前の子どもたちが参加しやすい取り組みをしている。	76%	20%	4%	0%

【認定こども園四季の森こども園 3～5歳児 保護者評価回答用紙】

評価の欄 A：そう思う B：どちらかといえばそう思う C：どちらかといえば思わない D：そう思わない

評価項目	評価内容 (右の欄の当てはまるA～Dに○をお願いします)	※評価			
		A	B	C	D
教育方針・目標	保護者に教育方針や教育目標を分かりやすく伝えている。	64%	33%	3%	0%
	教職員が連携協力して活動に取り組んでいる。	64%	31%	5%	0%
活動内容	子どもの遊びや生活の充実に努めている。	82%	18%	0%	0%
	保育の中で様々な体験活動を取り入れている。	87%	13%	0%	0%
	工夫をして行事の充実に取り組んでいる。	79%	21%	0%	0%
	子ども一人一人の個性(良さや可能性)を大切にしている。	59%	33%	5%	3%
	子どもが自ら考えて遊びに取り組もうとする気持ちを育てている。	74%	21%	5%	0%
	外遊びや運動遊び等で楽しく体力をつける工夫をしている。	77%	18%	3%	3%
	あなたの子どもは、園に行くことを楽しみにしている。	74%	18%	5%	3%
礼儀・心の育ち	子どもが礼儀正しくなるように育てようとしている。	44%	49%	5%	3%
	子どもが命を大切にしようとする心を育てようとしている。	54%	44%	0%	3%
	思いやりの心や感謝の気持ちを育てようとしている。	67%	28%	0%	3%
	してはいけないことなど、ルールを守る態度を育てようとしている。	64%	23%	10%	3%
	あなたの子どもは、自らあいさつをしようとして心がかけている。	33%	38%	23%	0%
指導内容方法	笑顔で、子どもに温かい言葉遣いや態度で接している。	72%	23%	3%	3%
	ほめながら、子どもの意欲や自信を育てるようにしている。	74%	21%	5%	0%
	子どもの良さや努力を公平に評価している。	73%	23%	3%	3%
安全・環境整備	遊具・施設等の安全や事故防止に努めている。	73%	27%	10%	3%
	室内で安心して生活できるように清潔にしている。	69%	23%	8%	0%
	地震・火災・不審者等危機管理に関する対策を行っている。	77%	23%	0%	0%
	保護者にとって親しみやすい環境をつくっている。	59%	33%	5%	3%
	あなたの子どもは、自然の中で遊ぶことを楽しみにしている。	85%	13%	3%	0%
食事	子どもが楽しく食事をする環境づくりに努めている。	74%	26%	0%	0%
	活動の中で子どもが食べ物について考える態度を育てている。	64%	28%	8%	0%
	子どもの成長やアレルギー等健康状態に応じた食事を考えている。	67%	31%	3%	0%
	あなたの子どもさんは、ランチの時間を楽しみにしている。	69%	31%	0%	0%
研究・研修	保育内容について研究・研修し、それを日常に生かしている。	64%	37%	0%	0%
職員の服務	職務にふさわしい身なり、節度ある行動・態度がとれている。	65%	29%	3%	3%
情報管理・発信	手帳や便りでは保護者の立場を考慮して適切な内容を伝えている。	69%	23%	8%	0%
	文書や会話を通して、子どもや園の情報を発信している。	69%	23%	8%	0%
	保護者に行事や参観等に参加しやすいようにしている。	59%	33%	5%	3%
	プライバシーを侵害する情報を発信していない。	74%	23%	3%	0%
	子どもや園に関する守らなければならない事項を漏らしていない。	72%	26%	3%	0%
家庭・地域	家庭や地域と協力しながら活動を進めている。	64%	31%	5%	0%
	保護者や地域からの意見や相談を聞きやすい体制を取っている。	54%	36%	10%	0%
	あなたの子どもさんは、家庭で友達や先生、活動内容についての話をする。	67%	26%	5%	3%
預り保育	保護者の意見や相談を聞きやすい体制を取っている。	53%	30%	14%	3%
	預かり保育の活動内容の充実に努めている。	47%	39%	11%	3%
子育て支援	保護者同士が子育てについて相談しやすい場を設けている。	33%	46%	13%	0%
	就園前の子どもたちが参加しやすい取り組みをしている。	45%	47%	8%	0%